

第36回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



全国優秀賞 山形県農業協同組合中央会会長賞

図画3部 「力を合わせて」

山形市立第九中学校3年 半田さつきさん



平成24年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 今 田 正 夫…………… 1

◆作文・図画コンクール入賞一覧…………… 2

◆図画部門

図画 1 部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 3

図画 2 部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 4

図画 3 部／山形県知事賞

全国優秀賞・山形県農業協同組合中央会会長賞… 5

◆作文部門

文部科学大臣賞…………… 6

作文 1 部／全国優秀賞・山形県知事賞…………… 8

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 9

作文 2 部／山形県知事賞…………… 10

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 11

作文 3 部／山形県知事賞…………… 13

山形県農業協同組合中央会会長賞…………… 14

◆審査講評…………… 16

作文部門審査講評 山形市立西小学校校長 柿崎 憲一

図画部門審査講評 東根市立大森小学校校長 元木 正史

◆第25回～第36回 入賞一覧…………… 18

◆審査経過の概要…………… 20



ごあいさつ

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

三十六回目を迎えた今回は、県内の小・中学校から作文三八八点、図画八五三点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦、作文部門で文部科学大臣賞と優秀賞、図画部門で優秀賞を受賞するという素晴らしい成績を収めました。また、県コンクールにおいても、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。コンクールの参加について、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査員の先生方、そして山形県ならびに各J Aのご支援・ご理解の賜と心から感謝申し上げます。

このコンクールは、次世代を担う小・中学生の皆さんに、お米やごはん食、稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業と、ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらい、人々とのコミュニケーションをはかっていただくために実施しております。

皆さんの作品は、米作りのお手伝いを通じて感じた家族への感謝の気持ちを表現したものや、収穫そして食べる喜びを思い切り表現したものなど、個性豊かですばらしいものばかりでした。

また、今年度におきましては、東日本大震災を通して、農家の人の悲しみに共感したり、変わってしまった田んぼが元の姿を取り戻すことを願った作品、東京電力福島第一原発事故の影響による家族が作った大切な作物の安全を心配する作品など、見て聞いたこと、感じたことが素直に表現された作品も見受けられました。これからも、日常生活の中にある本当の豊かさに目を向けてく

山形県農業協同組合中央会

会長 今田正夫

ください。そして、それらを支えている多くの人たちの苦勞や努力を感じ、感謝の気持ちを忘れないでください。また、家族を大切にしている心、自然を大切にしている心、生き物すべての命を大切にしている心、いつまでも持ち続けてください。

さて、日本は、世界中の国々と貿易をおこない、多くの食べ物を入力しており、食料自給率は三九%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなるのが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことで考えています。

今、太平洋を囲む地域の国々が、関税をなくし自由な貿易をすることなどについて話し合いをしており、日本の農業はたいへん厳しい状況にあります。もし、日本が貿易自由化に参加すれば、広大な農地をもつ国々の輸入農畜産物により、日本の農業は大きな打撃を受け、さらに、田畑の荒廃や今以上に食料自給率が低下するなど、農業だけでなく、国民の生活にも大変な影響を与えることとなります。J Aグループは、わが国の食料・農業・農村を守るための運動として、漁業団体や消費者団体、地方自治体と一緒に取り組んでいます。

また、私たちJ Aグループは、消費者のみなさんと一緒になって、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、安全・安心な農畜産物の提供に向けた取り組みに、今後一層努力をまいります。

最後に、皆様のご協力により、当コンクールをますます発展させていただきますようお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

第36回 「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

○文部科学大臣賞

(作文 3 部) 小林 千紗 高島町立第二中学校 3年

○全国優秀賞

(作文 1 部) 五十嵐まりあ 山形市立千歳小学校 1年

(図画 3 部) 半田さつき 山形市立第九中学校 3年

○学校奨励賞

高島町立第二中学校

山形県審査における入賞者

作文部門

●1部 (小1年～3年)

山形県知事賞 五十嵐まりあ 山形市立千歳小学校 1年
山形県農協中央会会長賞 大滝 楓人 鶴岡市立朝日大泉小学校 2年
優 秀 賞 森 壮汰 村山市立袖崎小学校 1年
安達 涼乃 大石町立大石田小学校 2年
阿部 夢叶 最上町立大堀小学校 2年
横山 陽音 米沢市立三沢東部小学校 2年
大滝 星矢 鶴岡市立朝日大泉小学校 3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞 土門 匠 天童市立長岡小学校 5年
山形県農協中央会会長賞 伊藤 琉圭 鶴岡市立西郷小学校 5年
優 秀 賞 細矢 愛結 村山市立大久保小学校 4年
矢萩 優生 村山市立戸沢小学校 4年
曾根 匠人 米沢市立窪田小学校 6年
佐藤 亜美 鶴岡市立羽黒第二小学校 6年
渡部 さくら 鶴岡市立朝日小学校 6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞 早川 舞乃 山形市立第六中学校 1年
山形県農協中央会会長賞 阿部 咲輝 鶴岡市立朝日中学校 2年
優 秀 賞 太田 里美 米沢市立第四中学校 2年
渡部 羅夢 鶴岡市立朝日中学校 2年
森谷 咲耶 東根市立神町中学校 3年
舟山 愛理 米沢市立第二中学校 3年
中村梨恵子 山形大学附属中学校 3年

●学校奨励賞

鶴岡市立朝日大泉小学校
鶴岡市立朝日中学校

図画部門

●1部 (小1～3年)

山形県知事賞 斎藤 匠 東根市立神町小学校 3年
山形県農協中央会会長賞 星川 悠人 尾花沢市立高橋小学校 2年
優 秀 賞 越前 快斗 尾花沢市立尾花沢小学校 1年
尾崎 李果 尾花沢市立玉野小学校 1年
笹原 優極 尾花沢市立常盤小学校 2年
叶野 空和 鶴岡市立羽黒第二小学校 2年
宇田 竜健 庄内町立立川小学校 3年

●2部 (小4～6年)

山形県知事賞 溝越 真輝 尾花沢市立寺内小学校 5年
山形県農協中央会会長賞 小幡 あみ 尾花沢市立福原中部小学校 5年
優 秀 賞 東海林玲奈 尾花沢市立福原中部小学校 5年
本間 海成 尾花沢市立明德小学校 5年
小幡 圭佑 尾花沢市立福原中部小学校 6年
三浦 幸司 尾花沢市立福原中部小学校 6年
佐藤 俊貴 鶴岡市立西郷小学校 6年

●3部 (中1～3年)

山形県知事賞 大滝 日菜 山形市立金井中学校 2年
山形県農協中央会会長賞 半田さつき 山形市立第九中学校 3年
優 秀 賞 進藤 円 山形市立金井中学校 1年
梅木 泉美 山形市立金井中学校 2年
高橋 真優 山形市立第九中学校 3年
横沢 美玖 山形市立第九中学校 3年
齋藤 光 南陽市立赤湯中学校 3年

●学校奨励賞

尾花沢市立福原中部小学校
山形市立第九中学校



■山形県知事賞■

「おいしいごはんいただきますーす」

東根市立神町小学校三年

齋藤 匠

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「田うえを手つだつたよ」

尾花沢市立高橋小学校二年

星川 悠人



■山形県知事賞■

「ぼくとじいちゃんの田植え」

尾花沢市立寺内小学校五年

溝越真輝



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「辛かった収穫」

尾花沢市立福原中部小学校五年

小幡あみ



■山形県知事賞■

「田植え」

山形市立金井中学校二年

大滝 日菜



■全国優秀賞■

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

「力を合わせて」

山形市立第九中学校三年

半田 さつき



文部
作3

文部科学大臣賞

祖父から学んだこと

高島町立第二中学校三年

小林 千紗



私は、小学校二年生のときから七年間ずっと、祖父母の家で朝ご飯を食べています。祖父母との朝ご飯は、カレーライス、煮物、おひたし等ごく普通のものでしたが、その朝食を食べながら私は祖父から多くの事を学びました。その中で心に残っている事があります。

それは、ご飯の食べ方についてです。祖父母の家に行き始めた頃、私はテレビを見ながらご飯を食べ、食べ終わるとすぐ

「ごちそうさま。」

とだけ言って、学校に行くという生活を送っていました。そんなある日、祖父が私の見ているテレビを急に消してしまつたのです。私は驚いて祖父の方を見ました。すると「おばあちゃんが早起きして、心を込めて作ったご飯なんだから、ちゃんとテーブルの方を見て、味わって食べなさい。それから、明日からは、もっと早く来て、余裕を

もって食べなさい。」

と、言いました。その頃の私はまだ小さくて祖父の言った事は半分くらいしか理解できませんでしたが、次の日から言われた通り早く行つて、テーブルの方を向いて食べるようにしました。すると、その日その日で「今日の祖父はよく話すな。何かいい事があつたのかな」とか「今日は眠そうだな」など、いろいろな事が分かるようになり、前よりも会話をたくさんするようになりました。さらに、時間に余裕がある分、祖母が作ってくれたご飯を味わって食えることができるようになりました。毎日朝早くからご飯を作ってくれてありがとう、と改めて思うことができるようになったのです。

次に心に残つたことといえば、私が小学校四年生ごろから六年生ごろまで毎朝、朝食の前に行つた朗読です。と言つても読むのは祖父の方で、ボケ防止を目的として始めた取り組みでした。祖父は、本や新聞を毎朝五分間、私に読んで聞かせてくれました。祖母も朝食の準備が終わると、私と一緒に聞きました。そして、ご飯を食べながら、聞いていて思った事などを話したり、祖母が聞けなかった日は、私が祖母にもう一度話して教えたりしました。その頃の私はあまり人と話すことが好きではありませんでした。したが、朝食のときに読み聞かせについて祖父母と話すことはとても好きでした。たぶん祖父は私が話すきっかけを

作ることも目的としていたのだと思います。この朗読についてのおしゃべりをしながらの朝ご飯のおかげで、今の私は、あの頃よりちよっぴりおしゃべりになりました。この祖父母との食事を通して私は、ご飯を作ってくれた人への感謝の気持ちを決して忘れてはいけないということ学びました。また、楽しく会話をしながら食べると、とても幸せな気持ちになれるということ強く学びました。

祖父は去年、他界してしまい、今は、祖母と二人で朝ご飯を食べています。祖母は、祖父がいなくなってから、毎朝変わらず、早く起きて、心の込もったご飯を作り、私が行くのを待っていてくれます。そして、たくさん話しかけてくれます。ですから、毎朝おいしいご飯を楽しく食べることが出来ます。私も、してもらっているばかりではなく、いつか、自分で作ったご飯を、祖母に食べさせて、祖父にできなかつた分も恩返ししたいと思っています。

これから先、高校に行ったり、大学に行ったり、社会に出たりして、いろいろな人とご飯を食べる機会が増えると思います。どんなときでも、どんなところでも、祖父が教えてくれた感謝する心と、楽しく食べることが出来る「会話」という秘訣を忘れずに、ご飯をおいしく食べていきたいです。



■全国優秀賞・山形県知事賞■

ごはんをたいせつにたべる

山形市立千歳小学校二年 五十嵐まりあ

このまえ、みやぎのたがじょうのおばあちゃんのうちにいきました。くるまで、とうぶどうろをはしっていたとき、いままでひろかったたんぼが、いっぱいのがれきにうまっているのがみえました。わたしは、とてもびっくりして、こめをそだてているひとは、だいじにそだてていたこめがつかれなくなつて、かなしいきもちだとおもいました。

わたしも、なつやすみちゆうに、あさがおをそだてていて、まいにちみずをあげたり、かんさつをしたりしていたのに、かれそうになってきてかなしかつたので、おこめをつくっているひとはもっとかなしいおもいをしてるんだとおもいました。

わたしは、いままでは、ごはんをしょっちゆうのこし

ていました。でも、三がつのじしんのあと、ていでんになつたり、おこめがおみせにうっていなくなつたりして、しばらくごはんがたべられませんでした。そしてひさしぶりにあたたかいごはんをたべたとき、そのごはんはともおいしかったです。わたしはこのときのきもちをわすれたくありません。

つなみでたくさんのたんぼが、がれきにうまつてしまったので、たいせつにごはんをたべないと、おこめがなくなつてしまつて、またごはんがたべられなくなつてしまうかもしれません。これから、ちゃんにごはんがのこらないように、ちゃんと、ごはんをのこさずたいせつにたべます。

こんど、おばあちゃんのうちにいくときには、また、まえみたいひろいたんぼにもどつてるとうれしいなとおもいました。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

お米つてすごいな

鶴岡市立朝日大泉小学校二年 大滝 楓人

ぼくのひいばあちゃんは九十さいです。ぼくの家で作ったお米でいろいろなものを作ってくれます。ささまき、とちあられ、かたまち、せきはん、ぼたまち、おもち、ごもくごはんなどをよく作ってくれます。作っては、しんせきやおきやくさんにあげてよろこんでもらっています。作っているときのひいばあちゃんのかおは、たのしそうです。はりきっているひいおばあちゃんが大すきです。ぼくが一ばん大すきなものは、せきはんです。ひいおばあちゃんにどうやって作るのと聞いたたら、「もち米をといで、あずきをたっぷりの水でゆでたつゆを一ばん米につけておいて、よく水をきってからふかし、そのあと、大きい入れものにかけて、水とさけをよくまぜてからふかしなおすとしなこくなるよ。」

と、教えてくれました。ぼくはたいへんだなあとおもいました。おまつりの時、ふかしがまを見たら、三だんくらいあつてびっくりしました。多いときは、五しようもふかすそうです。たくさんのお米を大きなふかしがまで作るからおいしいのかなあとおもいました。

ひいばあちゃんの作ってくれるものは、なんでもおいしいし、じょうずでじまんひいばあちゃんです。

学校からかえつてくるとおなかぺこぺこなので、三人でおにぎりを作ります。ひいばあちゃんが、

「せいや、ふう人、えっぺ食べて大きくなれよ。」と、言われた時、

「うん、いっぱい食べて大きくなるよ。」と、言うといいおばあちゃんは、にっこり。

ぼくは、白いお米がいろいろな食べものにへんしんするなんて、すごいんだなあと思いました。ひいばあちゃんのように、ぼくのじまんです。

■山形県知事賞■

大好きなじいちゃんとお米

天童市立長岡小学校五年 土門 匠

ぼくは、お米が大好きです。毎日三食ごはんを食べた
いごはん派です。中でも一番の好物は、たきたてほかほ
かのごはんです。白くかがやいたツヤツヤの米つぶは、
一口ほおぼると口の中でおどり、二口ほおぼると、ジュ
ワーっとあま味がにじみでてくるように感じます。

どうしてこんなにごはんが好きなのでしょうか。それは、
きつとお米作りの大変さを身近かで見ているからだと思
います。

ぼくのじいちゃんは米作り農家です。農家の人たちは
「おいしくなあれ。」と心をこめて、お米を作っている
ことをじいちゃんから聞いています。そして、田おこし
から二百日間もの長い間、毎日米作り一色です。

ぼくは、四月上旬の種まきからお手伝いをします。温
泉につけた種もみを苗箱に植えつけていきます。千八百
枚もの苗箱を機械に差しこんでいくのが、ぼくの仕事で

す。力もいらぬし、はげしい運動もないけれど、とて
も根気のいる仕事です。じいちゃんは、もくもくと種の
具合や機械の調子を確かめながら汗を流しています。そ
んなじいちゃんはずごいと思います。

そして、苗が十三センチぐらいに育ったころのゴール
デンウィークが田植えです。毎日、朝五時から田んぼに
出て、田植えをします。ぼくは、主に、苗をハウスから
出して田んぼへ運ぶ仕事をします。ハウスの中はまるで
サウナのようにむし暑いのです。育った苗は重さもあるた
め、とてもきつい仕事です。時折、いやになって逃げだ
したくなります。そして、思わずなみだがこぼれそうに
なりましたが、ぐっとこらえてがまんしました。なぜな
ら、そのなみだと汗がおいしいごはんになるからです。

じいちゃんは、米作りのプロなので細かいこともきび
しいです。いつもはやさしいじいちゃんですが、この時
ばかりはきびしいです。苗をたおしたり、ざつにあつかっ
たりすると、とてもこわいです。だから田植え中は、つ
らい事もいっぱいあります。

田植えがおわると毎日、水の管理や稲のじょうたいを
見守り、朝から晩まで、田んぼで仕事をしているじいちゃ
んです。本当に汗のかわく時がありません。そのおかげ

で、本当に、本当においしいお米が出来上がります。
ぼくが毎日食べているお米は、ぼくとじいちゃんか、
汗水たらして作ったお米なのでとてもおいしいです。そ
して、そのお米には、じいちゃんの愛情がぎゅっとなつ
ています。だからお米が大好きです。今日もたきたてほ
かほかのごはんをいただきます。ごはんは、ぼくの力の
源です。



■山形県農業協同組合中央会会長賞■

お米を大切に

鶴岡市立西郷小学校五年 伊藤 琉圭

「ざくっ、ざくっ。」

ぼくは今、稲刈りをしている。金色に実った稲をかま
刈っていくのだ。稲作指導員のお父さんや大人の人達の
「一本一本が太いなあ。」

という声が聞こえる。うれしくてかまを持つ手に力が入
る。

ぼくの学校では、五年生になると毎年、学校田で米作
りをしている。となりの湯野浜小学校と加茂小学校の友
達も一緒に活動する。四ヶ月前、田植えがあつた。天気
は晴れ、気温二十三度の最高の天気だつた。全員がどろ
だらけ、汗だくになりながら、一本一本ていねいに植え
ていった。二十センチほどの高さの苗が田のはじからは
じまでびっしりになった。水が張られ、まっすぐに植え
られたぼく達の苗はともしりっぱで頼もしく、ほこらし
い気持ちになった。心の中で「大きく育てよ。」と話

しかけた。

それから、ぼく達は夏休み前、地区にある善宝寺で修行体験学習をした。座ぜんをしたり、早朝のそうじをしたりしたが、一番に残ったのは、食事の時間だ。おぜんには、ご飯の他のほうれん草、にんじん、きゅうりなど畑でとれた野菜が並んでいた。少し質素な感じがしたが食べたらとてもおいしかった。そして、食事ではいろいろな作法があった。ご飯をもらう時は、正座で両手でもらうこと、食べるときには、おわんを頭の上上げる、おかわりするときには全部食べることなどだ。ぼくは作法を守ることだけで大変だったが、お坊さんは、

「お米一つぶでも大切に思う気持ちをこめましょう。」

と話してくれた。ぼくはうちの人からも、いつも同じことを言われるのを思い出し、よくかんで食べた。また、食事中に、

「たくわんを一枚残しておいてください。洗うので。」

と言われた。どうするのかと思っていたら食事の最後にお坊さんが茶わんにお湯を注いだ。

「たくわんで茶わんを洗います。」

ぼくは、ご飯茶わん、お汁茶わん、お皿とお湯を順番に移し、最後に全部飲みほした。いろんな味がしたが、茶

わんはとてもきれいになった。ぼくは「昔から、寺でも家でもお米や野菜を大切に食べてきたんだな。」と改めて思った。

ぼくの家でも、米を作っている。お父さんが田植えから毎日ていねいに田んぼの世話をしている。いつも見ているだけだったが、今年、自分が米作りをしてみても、苗を大きくするまでの、大変さや、育っていくときのうれしさ、そして収穫する喜びを体験することができた。これから、脱こくやふくろづめの仕事をするが、「西郷米」のラベルを張るところまでみんなががんばっていきたいと思う。



■山形県知事賞■

父に感謝！

山形市立第六中学校二年 早川 舞乃

私がお米に興味を持ったのは、小学校四年生の時だった。それまで会社員として働いていた父が、農業を営む仕事に転職することになったのだ。

「お父さんは、今度農家になるの。」

母の言葉は衝撃的だった。私は、農業という職業についてほとんど何も知らなかった。だからすぐに、

「ヘンだよ！」

と言つて、父の転職に反対した。何よりも、会社で部長を務めていた父は、私の誇りだったからだ。

しかし、私の思いとは裏腹に、父は農業の仕事を開始することになった。

「米を作るということは、日本人にとって本当に大切なことなんだ。誰もが食べておいしく、安心できる米を自分の手で作ってみたくなったんだ。」

父の思いに家族みんなが応援することに決めた。それまでは、何も思わず、当たり前のようにご飯を食べていた私にとって、お米という存在がぐっと近くなった気がした。

しかし、農家の仕事がそう簡単ではないことは、私も次第にわかってきた。父は田んぼを借り、他の農業の人達と協力して作業をする組合の一員として働いていた。最初の頃は、私も妹も父の田んぼに行き、自分ができる仕事を手伝った。

田んぼの水の量は、暑さや雨に左右されるし、用水路の水を止めたり、出したりの調整も必要だ。父が朝早く様子を見に田んぼへ出かけたり、突然の雨で水を止めに行ったりすることはよくあった。また、父は組合の機械を借りて作業をしており、自分の家だけではなく組合の人達の田んぼをみんなで手伝い、協力して仕事をしている。忙しい時期には、朝の三時頃に農作業に出て行く。そんな努力があつて、やつとおいしいお米ができるのだということを知った。

父達の農作業の邪魔をするのは、天候だけではない。害虫であるカメムシが発生すると、稲の栄養を吸い取り、米を黒くしてしまう。そうなると出荷はもちろん、食べることもできない。害虫の発生を抑えるための消毒も、父の仕事だ。良質なお米を作るためには、そうした様々な手のかかる仕事をきちんとかなしていくことが肝心、と父は言う。

十数年前、冷夏で日本の米が取れない年があつた。米が不足し、日本はやむを得ずタイから米を輸入し、「タイ米」を食べることになった。「タイ米は細長くて、パ

ラバラして、冷めるとまずかったの。」と母。タイ米のおかげで、日本の古米や古々米などが買い占められ、すぐく値上がりしたのだという。このことがあって、日本の米の安全性やおいしさが見直され、日本人はお米を大切にしてお米を食べるようになったと父が教えてくれた。

今年は、東北の米農家にとって大変な年となった。原発による放射能汚染の怖れや風評被害。そして、大型台風の影響――。

「父の田んぼや米が汚染されていたら……。」

ドキドキしたが、山形の検査は影響なし！

「米が安全だとわかって、本当に良かった。」

無事実りの秋を迎えた父の喜びが、そのまま米作りの人すべての喜びであってほしい。

その昔、中国から伝えられた稲作を、私達日本人の祖先は大切に受け継いできた。昔は農業機械や消毒の智恵はなかったかもしれない。しかし、「安心して食べられるおいしいお米を作ろう」という気持ちは、ずっと変わらず伝えられてきたと思う。「お米」は、私達日本人にとって、なくてはならない大切な主食なのだ。

毎日安心しておいしいお米を食べられることは、本当に幸せなことだ。私は、苦労しながらお米を作っている父に感謝したい。そして、農業という大切な仕事を選んだ父を、私は心から誇りに思っている。

■山形県農業協同組合中央会会長賞■

ご飯の力

鶴岡市立朝日中学校二年 阿部 咲輝

「今日の晩ご飯は何？」

家に帰るとまず最初に口から出る言葉です。部活動でくたくたになって帰る一日の終わりには、いつもおなかが減って、ご飯のパワーをもらわないと倒れそうになります。そんな僕に、母は「今日は肉と野菜の炒め物と夏野菜のグラタン。」と、楽しそうな声で答えてくれます。帰りが遅くなっても必ず待っていてくれるし、疲れている日は、「おいしいよ。」と言う元気もないくらいのぼくに、「おいしい？」と聞いてくれる優しい母です。母が作るおかずと、家の田んぼで取れた米。これが毎日の力の源です。

ぼくの家は専業農家ではありませんが、米を作っています。田植えは毎年家族総出でやる仕事で、手伝うのは当たり前でした。当たり前のようにやっている仕事ですが、ぼくの家では、魂を込めて育てていると自信を持って言うことができます。そう思うきっかけは、ある日の祖母の姿でした。祖母は苗に向かって「おいしくなれよ。」と声をかけているのです。不思議に思い、聞いてみまし

た。「ばあちゃん、米や野菜は言葉わがんねじゃん。んだなさ、なんでしゃべりながら仕事してんなや？」すると祖母は、「米も野菜も言葉わがるぜ。野菜は人の気持ちの入れ方次第で、大きく育つが小さくなるが、おいしくなるがならねが、決まってくるんだよ。」と言うのです。「へえー。」と答えながらも、「野菜なんて人の言葉わがるわけねえや。」と思う気持ちがありました。

そして今年も田植えの季節がやってきました。祖父が「今年の苗の根はいいぞ。」とうれしそうに言います。そういえば去年も同じようなことを言っていたな、と思い、どうして毎年同じようなことを言っているのか、本当に今年の根はいいのかどうか聞いてみました。すると、「ほめると苗も元気に育つんだ。」という答えでした。驚いたことに、祖父も祖母も同じようなことを言っているのです。そこで僕はようやく納得できました。米や野菜は言葉はわからないかもしれないけれど、言葉で伝えようとする人の気持ちは分かるということです。今まではただ植えていただけの田植えでしたが、祖父と祖母の話聞いた今年、ぼくも「おいしくなれよ。」と苗に声をかけながら、気持ちを込めて田植えに参加しようと思ひ、田んぼに行きました。しかし、植えるだけでもつらいのに、気持ちを込めるのはとても大変です。うまくできたのか不安になっていると、祖母が、「ありがとう。今年も咲輝のおかげで楽しく作業できだっけ。」

と言ってくれました。「楽しくできだつてば？」と聞き返すと、「田植えは疲れるが、少しでも楽しめると、疲れとれんだよ。」と言ってくれました。楽しく話したり笑いあったりして、疲れを吹き飛ばしながら仕事を、昔の人の智慧なのかもしれない。米作りには、人と人とを結びつける力もある。とても大変な仕事ですが、その大変さを忘れるくらい、何が起きるか分からない。うれしい驚きもあります。そんな米作りが僕は大好きです。

春に植えた苗は、今では五十センチほどになりました。種の時から考えると、五十センチまでの道のりは、決して短いものではありません。小さい時は、苗の色が悪かったりして、家の人たちがどうしたらいいかと悩んでいる時もありました。しかし、日に日に育つ苗はともきれいに見えます。このまま順調に頭が垂れ下がり、いつばいの米が実ることを願って、今日も祖父は田んぼの見回りに行きます。きつと何か稲に話しかけながら歩いているのでしよう。声をかけ、愛情をかけられて育つ米だからこそ、おいしいご飯となつて、毎日ぼくたちに力を与えてくれるのです。ご飯の力は育てる人の愛情。また来年も、気持ちを込めて田植えを手伝います。

作文部門審査講評

山形市立西小学校校長 柿崎憲一

第三十六回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの作文部門には、県内六十七校から三八八点の作品応募がありました。

全国コンクールでは、高畠町立第二中学校三年・小林千紗さんの「祖父から学んだこと」が文部科学大臣賞を受賞し、山形市立千歳小学校一年・五十嵐まりあさんの「ごはんをたいせつにたべる」が優秀賞を受賞しました。また、高畠町立第二中学校は、学校奨励賞に輝きました。本当におめでとうございます。

それでは、県審査を行い、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞を受賞されたみなさんの作品を紹介いたします。

一部（小学校一年生から三年生）

○「ごはんをたいせつにたべる」（山形市立千歳小学校一年・五十嵐まりあ・山形県知事賞）では、多賀城市の祖母の家に行く途中に、東日本大地震のために、がれきで埋まっている田んぼを見て、思ったことや考えたことが強く伝わってきます。自分の体験に結びつけて農家の人の悲しい気持ちや、これからの米作りを心配する気持ちを書いているので、読む人に心から訴えているようです。

○「お米ってすごいな」（鶴岡市立朝日大泉小学校二年・大滝楓人・山形県農業協同組合中央会会長賞）には、九十才の元気なひいばあちゃんが、たくさんのお米を使っておいしいおふかしを作る様子がくわしく描かれています。また、おいしいものを作ってみんなに食べさせたいと思っているひいばあちゃんを、とてもすごいと感心していることがよく伝わってきます。「ひいばあちゃん」と「ぼく」の温かいかわりが、読み手の気持ちも温かくしてくれました。

二部（小学校四年生から六年生）

○「大好きなじいちゃんとお米」（天童市立長岡小学校五年・土門匠・山形県知事賞）には、米作り農家である祖父の仕事ぶりや人柄についてくわしく表現されています。自分も仕事を手伝ったからこそ感じる米作りの大変さと、その大変な仕事に手を抜かずに取り組む祖父の米作りのプロとしてのきびしさがしっかり描かれています。

○「お米を大切に」（鶴岡市立西郷小学校五年・伊藤琉圭・山形県農業協同組合中央会会長賞）では、米作りの体験・お寺での修行体験の様子が目に見えるようにくわしく書かれています。特に、お寺でのごはんをいただくときの作法については、初めての行いでとても

心に残る体験だったことが感じられます。用いられた会話が場面の様子を生き生きとさせ、テンポよく読むことができる作品です。

三部（中学校一年生から三年生）

○「父に感謝！」（山形市立第六中学校一年・早川舞乃・山形県知事賞）では、父親の転職という大きな状況の変化を受け止め、そこから素直な考え方で米作りを見つめています。父親の手伝いを通して米作りの大変さを具体的にとらえ、米作りを大切にしてきた歴史にも思いを馳せています。家族の応援の中で、安心して米作りに努める父親への愛情で結ばれている点も、明るい希望を抱かせます。

○「ご飯の力」（鶴岡市立朝日中学校二年・阿部咲輝・山形県農業協同組合中央会会長賞）では、家族との会話文からご飯のパワーと家族の愛情をいっぱいもらっている作者の素直な心が伝わってきます。祖父が「ほめて育てると苗が元気に育つ」という考えを、別々に作者に伝えているところもていねいに描かれています。ぼくの家では、魂をこめて米作りをしているという誇りや、「米作りが大好き」という気持ちがよくわかりました。

○県学校奨励賞は、質の高い作品が多かった、鶴岡市立朝日大泉小学校と鶴岡市立朝日中学校が受賞しました。誠に、おめでとうございます。

◎また、全国審査会で文部科学大臣賞を受賞した小林千紗さんの作品は、祖父との食事の様子が生き生きと描かれていて、作者への祖父母の深い愛情が感じられます。温かい食事風景の中で、作者の心が育っていく様子が素直に描かれている見事な作品です。

○本コンクールの作文審査を行い、感動するよい作文とは、「ごはん・お米にかかわることや問題点をみなさんが自分のこととしてとらえ、意見や感想をはっきりと述べている作品のことです。さらに、そこに自分の生活体験とのかかわりが含まれていれば、いっそう読む人の心に響く作品になると思います。

昨年、東日本大震災があり、食の大切さ、ありがたさをみんなが痛感しました。人と人との温かい絆の大切さにも改めて気づくことができました。これからもみなさんには、山形県や日本の元気をつくる食文化や人とのつながりに目を向けて、自分の興味・関心を生かしながら社会のために大いに活躍なされることを期待いたします。

評講審査部門画図

東根市立大森小学校校長 元木正史

第三十六回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの図画部門には、県内一一一校から八五三点の作品の応募がありました。ごはんをおいしそうに食べる様子、田植えや稲刈りの作業を手伝う様子など、ごはんやお米とのかかわりが、思い思いに、そして豊かに表現されていました。また、絵から、家族や友だちとの会話もたくさん聞こえてきました。

そんな作品の中から、県審査では、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、県優秀賞、県学校奨励賞の選考を行いました。受賞されたみなさんの作品を紹介します。

一部（小学校一年生から三年生）

○「おいしいごはんいただきます」

（東根市立神町小学校三年・斎藤匠・山形県知事賞）

おいしいごはんを食べるうれしさを、画面いっぱい表現しています。見ていてつい微笑んでしまう温かい絵です。色づかいが上手で、顔の色を生き生きと表しています。ごはんの一粒一粒もていねいに描いています。匠さんの「うまい。」の声聞こえてきます。

○「田うえを手つだつたよ」

（尾花沢市立高橋小学校二年・星川悠人・山形県農業協同組合中央会会長賞）

家族みんなで田植えをした時の様子を、ていねいにかいています。青空が映った田んぼに苗が整然と並んでいて、さわやかさを感じさせます。田植え機もよく観察してかいています。悠人さんも一生懸命にお手伝いしたのでしょう。顔の表情から満足感が伝わってきます。家族の強い絆を感じさせるともいい絵です。

二部（小学校四年生から六年生）

○「ぼくとじいちゃんの田植え」

（尾花沢市立寺内小学校五年・溝越真輝・山形県知事賞）

画面からおじいさんとの会話や機械のエンジン音が聞こえてきます。田植え名人のおじいさんが機械を軽快に操り、回転させた時の土や水の動きまでが、力強い構図と自分の色で表現されています。いつも手伝いをしてよく見ているからかけた迫力ある作品です。

○「辛かった収穫」

（尾花沢市立福原中部小学校五年・小幡あみ・山形県農業協同組合中央会会長賞）

腰をかがめて稲を刈るのは、とても辛かったですね。でも、その分、収穫の喜びも大きかったのでしょう。仕事をやり終え満足していることが、生き生きとした表情からわかります。また色を工夫してたわわに実った稲を見事に表現しています。自分と両手いっばいに抱えた稲を大胆に表し、主題がよく伝わってきます。

三部（中学校一年生から三年生）

○「田植え」

（山形市立金井中学校二年・大滝日菜・山形県知事賞）

家族総出で、今は珍しくなった手植えをしている様子を描いています。人物の配置や動きを変えて、遠近感をうまく表現しています。色彩についても、青、緑系を中心にとり、新緑の頃の季節感や、水や空気の透明感まで巧みに表しています。米作りにかかわる人々の懸命な仕事ぶりを、誠実に描いた好感のもてる作品です。

○「力を合わせて」

（山形市立第九中学校三年・半田さつき・山形県農業協同組合中央会会長賞）

秋晴れの空の下、家族が力を合わせて刈った稲を干している様子を描きました。主題がはっきりしており、構図も明快です。稲穂の黄色に対し紫色の影をつけるなど、彩色にも細かい工夫を凝らしています。秋の日差しの表現が画面にメリハリを与え、広々とした風景が、山形の自然の豊かさと開放感を表しています。

半田さんの作品は、全国コンクールでも優秀賞に輝きました。

県学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校と山形市立第九中学校が受賞しました。おめでとうございます。

これからも、私たちにとってなくてはならないごはんやお米、「食」や「農」について、家族みんなですっかり考えていきましょ。来年も、みなさんの素晴らしい作品と出会えることを楽しみにしています。

第30回	第29回	第28回	第27回	第26回	第25回
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 阿部拓悠真(庄内町) 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 後藤 剛(高島町) 渡部 愛(米沢市) 佐藤 麻衣(山形市)</p> <p>●優秀賞 渡部 由夢(高島町) 阿部 理沙(鶴岡市) 高橋 恵美(最上町) 阿部 貴之(鶴岡市) 齋藤 蓮奈(鶴岡市) 佐藤 彩絵(鶴岡市) 菅野明日香(高島町) 小林 桜子(山形市) 有賀この美(鶴岡市) 佐藤 誠(庄内町) 山口 真盛(鶴岡市) 川田美沙樹(山形市) 今野 若奈(鶴岡市) 榎本有紀子(鶴岡市) 富樫 美穂(南陽市)</p> <p>●学校奨励賞 庄内町立余目第二小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 浩司(朝日村) 石山 芽生(最上町) 大湊 希(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 貴之(榊引町) 齋藤 玲奈(羽黒町) 阿部 咲輝(朝日村) 佐藤 緑(山形市) 鈴木菜都美(大石田町) 上野由香里(朝日村) 難波 和希(朝日村) 山木 理央(高島町) 橋澤 真佑(最上町) 杓本 大来(最上町) 大浦 沙織(高島町) 齋藤 那千(朝日村) 御桶夏津子(鶴岡市) 貝田 奈緒(鶴岡市) 清野 郁(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 奥山 雅生(最上町) 守岡 雄朗(鶴岡市) 工藤 瑞穂(東根市)</p> <p>●優秀賞 石山 加奈(最上町) 菅 風沙(最上町) 伊藤 匠平(最上町) 渋谷 生帆(鶴岡市) 清野 真希(鶴岡市) 今井 大輔(鶴岡市) 菅井美香子(村山市) 五十嵐由香(鶴岡市) 大池 響子(米沢市) 阿達 大和(最上町) 稲垣菜里香(長井市) 土方 花重(鶴岡市) 南齋 宏駿(米沢市) 貝田 理沙(朝日村) 宮崎加奈子(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立富沢小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 伊藤佐久磨(朝日村) 小野寺寛貴(鶴岡市) 菅原 香織(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 伊藤 睦美(朝日村) 本間 稚菜(鶴岡市) 安孫子 郁(天童市)</p> <p>●優秀賞 二宮明日香(高島町) 阿部亜紗子(最上町) 大貫 秀平(最上町) 清野 史拓(朝日村) 佐藤 拓夢(鶴岡市) 岸 はづき(最上町) 洪井 彩希(山形市) 二戸 浩太(最上町) 阿部 貴敏(最上町) 秋野 寛斎(鶴岡市) 松田 恵(南陽市) 川崎 成也(南陽市) 清野 郁(朝日村) 中里恵里香(朝日村) 難波 和宏(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 朝日村立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 今井 大輔(鶴岡市) 佐藤 世和(米沢市) 小野寺千賀(朝日村)</p> <p>●県中央会会長賞 水谷ひらり(山形市) 結城 智裕(最上町) 渡辺真理子(高島町)</p> <p>●優秀賞 小野寺陽奈(朝日村) 大場たくや(最上町) 鈴木 玲奈(高島町) 後藤なつみ(高島町) 志藤 貴俊(三川町) 大場 麻由(最上町) 大場 剛(最上町) 和田真由子(鶴岡市) 石山 樹里(最上町) 清野 郁(朝日村) 佐藤 和磨(山形市) 清野 優(朝日村) 清野 舞(朝日村) 遠藤 晃毅(朝日村) 井上 寛子(天童市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立朝日中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 岸 詩音(最上町) 難波 幸希(鶴岡市) 佐藤 望(天童市)</p> <p>●県中央会会長賞 森 麻美(榊引町) 佐藤 香織(山形市) 清野 舞(朝日村)</p> <p>●優秀賞 今井 大輔(鶴岡市) 三浦 幸希(鶴岡市) 酒井 健太(山形市) 佐藤 大輝(鶴岡市) 佐藤真生子(最上町) 齋藤 那千(朝日村) 阿部 貴敏(最上町) 小野 翔(米沢市) 安達 美有(朝日村) 清藤 若佑(最上町) 菅原 香織(朝日村) 大滝まど佳(朝日村) 菅原 泰隆(鶴岡市) 荒井 郁(山形市) 小林千恵子(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 最上町立赤倉小学校 鶴岡市立鶴岡第三中学校</p>
<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 伊藤 浩司(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校</p> <p>●優秀賞 治部あかね(東根市) 齋藤 那千(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 酒井 惇(天童市) 渡部 千尋(朝日村) 長谷川 渚(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 平 理紗子(高島町) 石山 涼(最上町) 渡部 沙紀(朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 今野絵理奈(鶴岡市)</p> <p>●優秀賞 伊藤佐久磨(朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 庄司 光(藤島町) 本間 公章(温海町)</p> <p>●優秀賞 結城 智裕(最上町) 佐藤 世和(米沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 遠藤 晃毅(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日中学校</p>
<p>山形県</p> <p>●県知事賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市) 日下部仁美(米沢市)</p> <p>●県中央会会長賞 大類 海斗(尾花沢市) 浜田ひかり(南陽市) 木村 友美(山形市)</p> <p>●優秀賞 星川 瑞生(山形市) 石山 詩穂(尾花沢市) 新田 尚太(山形市) 笹原浩太郎(尾花沢市) 佐藤つぐみ(鶴岡市) 加賀 東杜(大石田町) 溝越 舞子(尾花沢市) 藤谷 睦姫(鶴岡市) 鈴木 潤(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 遠藤 瑞紀(山形市) 伊藤 茜(山形市) 神田 涼真(米沢市) 佐藤 勇太(鶴岡市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立高橋小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 笠原 練(最上町) 難波 沙英(朝日村) 小野紗由季(山形市)</p> <p>●優秀賞 東海林梨奈(尾花沢市) 倉金 卓美(尾花沢市) 柴崎 日向(尾花沢市) 原田 桃香(尾花沢市) 阿部 風子(尾花沢市) 西尾 昂太(尾花沢市) 荘司 留加(尾花沢市) 斎藤 千佳(朝日村) 七森 結花(朝日村) 佐藤 光(温海町) 古関 彰(山形市) 花等 雄太(山形市) 小玉 愛(上市市) 古川 千夏(山形市) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 菅原 瑞紀(尾花沢市) 乙坂ひかり(温海町) 高島 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 蛸井 葉月(鶴岡市) 難波 紗矢(朝日村) 板垣 友也(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 翼(最上町) 高野 陽希(最上町) 木村 さえり(鶴岡市) 高橋 龍星(大石田町) 本間 円(尾花沢市) 佐藤真理絵(温海町) 小内 将弘(尾花沢市) 鈴木 結(藤島町) 國分 雅哉(尾花沢市) 須田 琳子(鶴岡市) 日下部まどか(山形市) 設楽なつみ(山形市) 清野 美香(山形市) 伊藤 歩(山形市) 吉田真優美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 温海町立温海小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 荘司 留加(尾花沢市) 伊藤 祐太(尾花沢市) 村上 美紀(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 阿部 行成(鶴岡市) 須田 雄飛(鶴岡市) 武田亜沙美(山形市)</p> <p>●優秀賞 庄司 菜菜(尾花沢市) 村岡 孝一(尾花沢市) 有路 杏子(尾花沢市) 渡部 香菜(朝日村) 佐藤 史彬(高島町) 渡辺 大平(尾花沢市) 菅野 慎也(尾花沢市) 有路 里香(尾花沢市) 古瀬 裕真(尾花沢市) 阿部 貴文(鶴岡市) 川川 知美(山形市) 須貝 恵美(山形市) 高島 香織(山形市) 椎名 俊一(山形市) 鈴木 聖美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 尾花沢市立常盤小学校 山形市立第三中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 清野 史拓(朝日村) 小林 由佳(山形市) 高島 香織(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 武田 翼(尾花沢市) 須田 雄飛(鶴岡市) 小松 恵梨(山形市)</p> <p>●優秀賞 阿部 奨平(尾花沢市) 佐藤 奨啓(寒河江市) 國分 健太(尾花沢市) 工藤 大周(西川町) 佐藤 秀太(寒河江市) 五十嵐 隼(朝日村) 土屋 趙史(尾花沢市) 安達 美咲(高島町) 倉金 侑香(尾花沢市) 永沢 都(尾花沢市) 田村 里奈(山形市) 村上 美紀(山形市) 須貝 恵美(山形市) 本田 裕子(山形市) 長岡亜由美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 朝日村立朝日小学校 山形市立金井中学校</p>	<p>山形県</p> <p>●県知事賞 半田さやか(山形市) 菅野 慎也(尾花沢市) 長嵩 絵理(山形市)</p> <p>●県中央会会長賞 菅 友絵(最上町) 小野麻里子(尾花沢市) 齋藤 利恵(米沢市)</p> <p>●優秀賞 阿部 凌(寒河江市) 岸 英里香(最上町) 小林 育実(最上町) 佐藤 拓実(鶴岡市) 丹野 泰長(山形市) 須田 雄飛(鶴岡市) 片岡 勇人(最上町) 佐藤かおり(山辺町) 大久保 康(藤島町) 福田紗矢佳(最上町) 高島 香織(山形市) 鈴木 綾(米沢市) 小野友加奈(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立南山形小学校 山形市立金井中学校</p>
<p>全国</p> <p>●内閣総理大臣賞 三浦 潤平(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 今野 桃子(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p> <p>●優秀賞 會田 次郎(山形市) 小野寺百茄(鶴岡市)</p>	<p>全国</p> <p>●優秀賞 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 折原 菜純(尾花沢市) 高島 絵理(山形市)</p>	<p>全国</p> <p>●農林水産大臣賞 栗野幸智恵(山形市)</p> <p>●全国中央会会長賞 伊藤 拓也(朝日村)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立第九中学校</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 岸野 理沙(山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 瞳(朝日村)</p>	<p>全国</p> <p>●全国中央会会長賞 斎藤祐季子(山形市)</p> <p>●優秀賞 佐藤 奨啓(寒河江市) 倉金 侑香(尾花沢市)</p>	<p>全国</p> <p>●文部科学大臣賞 長岡 和美(山形市)</p> <p>●学校奨励賞 山形市立金井中学校</p> <p>●優秀賞 阿部 凌(寒河江市) 菅野 慎也(尾花沢市) 長嵩 絵理(山形市)</p>

第36回	第35回	第34回	第33回	第32回	第31回
山形県 ●県知事賞 五十嵐まりあ (山形市) 土門 匠 (天童市) 早川 舞乃 (山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人 (鶴岡市) 伊藤 琉圭 (鶴岡市) 阿部 咲輝 (鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰 (村山市) 安達 涼乃 (大石田町) 阿部 夢叶 (最上町) 横山 陽音 (米沢市) 大滝 星矢 (鶴岡市) 細矢 愛結 (村山市) 矢萩 優生 (村山市) 曾根 匠人 (米沢市) 佐藤 亜美 (鶴岡市) 渡部 さくら (鶴岡市) 太田 里美 (米沢市) 渡部 羅夢 (鶴岡市) 森谷 咲耶 (東根市) 舟山 愛理 (米沢市) 中村 梨志子 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 寺崎亜寿美 (大石田町) 工藤 暢晃 (庄内町) 小野 茜 (朝日町) ●県中央会会長賞 後藤 流偉 (鶴岡市) 菅原彩花里 (鶴岡市) 菅井 滯 (朝日町) ●優秀賞 後藤 美空 (米沢市) 菅原 菜央 (鶴岡市) 鈴木 駿佑 (大石田町) 會田 空翔 (山形市) 鈴木 花凜 (米沢市) 伊藤南奈美 (鶴岡市) 長沼龍之介 (高島町) 斉藤 健 (真室川町) 齋藤 元希 (大石田町) 小林 一樹 (寒河江市) 井上 玲 (米沢市) 大橋 鉄郎 (米沢市) 坂野 涼子 (米沢市) 江部ひふみ (米沢市) 杏澤 佑樹 (山形市) ●学校奨励賞 大石田町立大石田小学校 朝日町立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 伊藤南奈美 (鶴岡市) 難波 葵 (鶴岡市) 平山 美紀 (山形市) ●県中央会会長賞 今野 杏唯 (鶴岡市) 菅 瑞季 (最上町) 白石みおり (米沢市) ●優秀賞 原田 真白 (米沢市) 會田 空翔 (山形市) 押切 真依 (最上町) 後藤 大空 (米沢市) 押野 明純 (鶴岡市) 高橋 歩美 (高島町) 阿部 杏香 (鶴岡市) 安部 航大 (高島町) 近藤 舞 (鶴岡市) 山下 純平 (最上町) 遠藤 ゆい (鶴岡市) 渡部 加菜 (米沢市) 高橋 奏 (米沢市) 山口 大智 (南陽市) 我妻 隆羅 (米沢市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 押野 明純 (鶴岡市) 鈴木 彩 (鶴岡市) 有賀この美 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 會田 空翔 (山形市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 我妻 隆羅 (米沢市) ●優秀賞 鈴木 彩 (鶴岡市) 井上 秀香 (真室川町) 山口 まの (鶴岡市) 伊藤南奈美 (鶴岡市) 渡部 寿彦 (鶴岡市) 黒井 紀香 (鶴岡市) 瀬川 隼矢 (庄内町) 金野 華奈 (鶴岡市) 保科 拓也 (鶴岡市) 尾形 有生 (米沢市) 進藤小百合 (米沢市) 小野寺奈々 (鶴岡市) 安達 景都 (鶴岡市) 山口 久保朝香 (米沢市) 小野寺陽奈 (鶴岡市) 佐藤 理奈 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 瀬川 隼矢 (庄内町) 河野 美波 (鶴岡市) 佐藤 楓 (鶴岡市) ●県中央会会長賞 後藤 怜 (最上町) 上野 艦 (鶴岡市) 山口 和華 (天童市) ●優秀賞 渡部 寿彦 (鶴岡市) 笠原妃奈乃 (最上町) 伊藤南奈美 (鶴岡市) 結城 諒 (最上町) 佐藤麻捺夏 (鶴岡市) 五十嵐春奈 (最上町) 阿部紗世子 (最上町) 菅 風沙 (最上町) 引地加奈恵 (最上町) 齋藤 央奈 (山形市) 櫻井 祥太 (山形市) 山口 愛実 (南陽市) 久保 朝香 (米沢市) 橋本明香里 (山形市) 伊藤 香理 (鶴岡市) ●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校	山形県 ●県知事賞 原田 咲雪 (米沢市) 大池 清士 (米沢市) 大道寺 滯 (米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤 悠汰 (鶴岡市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 榎本江里加 (鶴岡市) ●優秀賞 伊藤 裕太 (鶴岡市) 鈴木 彩 (鶴岡市) 宮崎 俊也 (鶴岡市) 情野 雪海 (高島町) 大野 華奈 (鶴岡市) 渡部 実佳 (最上町) 小野寺千尋 (鶴岡市) 沖田 竜馬 (米沢市) 有賀この美 (鶴岡市) 齋藤 拓実 (庄内町) 渡部 香菜 (鶴岡市) 尾形 祐佳 (鶴岡市) 橋本 美月 (米沢市) 志田 優花 (山形市) 後藤 萌 (鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校
全国 ●文部科学大臣賞 小林 千紗 (高島町) ●優秀賞 五十嵐まりあ (山形市) ●学校奨励賞 高島町立第二中学校	全国 ●文部科学大臣賞 瀬川 隼矢 (庄内町) ●農林水産大臣賞 石森 泉 (鶴岡市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校	全国 ●農林水産大臣賞 齋藤 隼也 (鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立西郷小学校 ●優秀賞 白石みおり (米沢市) 平山 美紀 (山形市)	全国 ●優秀賞 鈴木 彩 (鶴岡市)	全国 ●文部科学大臣賞 金野 華奈 (鶴岡市) ●全国中央会会長賞 高橋 理久 (村山市) ●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校 ●優秀賞 佐藤 楓 (鶴岡市)	全国 ●優秀賞 大池 清士 (米沢市) 大道寺 滯 (米沢市)
山形県 ●県知事賞 斎藤 匠 (東根市) 溝越 真輝 (尾花沢市) 大滝 日菜 (山形市) ●県中央会会長賞 星川 悠人 (尾花沢市) 小幡 あみ (尾花沢市) 半田さつき (山形市) ●優秀賞 越前 快斗 (尾花沢市) 尾崎 李果 (尾花沢市) 菅原 優極 (尾花沢市) 叶野 空和 (鶴岡市) 宇田 竜健 (庄内町) 東海林玲奈 (尾花沢市) 本間 海成 (尾花沢市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 三浦 幸司 (尾花沢市) 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 進藤 円 (山形市) 梅木 泉美 (山形市) 高橋 真優 (山形市) 横沢 美玖 (山形市) 齋藤 光 (南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 柴崎 真人 (最上町) 森谷 康平 (山形市) 原田 拓夢 (山形市) ●県中央会会長賞 加賀 悠大 (鶴岡市) 小幡 圭佑 (尾花沢市) 荒井瑛絵子 (山形市) ●優秀賞 高橋 龍馬 (大石田町) 鈴木 来春 (尾花沢市) 平井 堅太 (高島町) 五十嵐一樹 (尾花沢市) 西塚 優太 (尾花沢市) 星 竜成 (米沢市) 佐藤 一貴 (天童市) 五十嵐友寿 (鶴岡市) 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 押野 尚道 (鶴岡市) 大滝 日菜 (山形市) 高橋 里沙 (山形市) 吉田 心 (山形市) 遠藤 千央 (山形市) 鈴木 里奈 (山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝鳴第二小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 丹波 優大 (尾花沢市) 森谷 康平 (山形市) 鈴木 智佳 (山形市) ●県中央会会長賞 菅 佑菜 (最上町) 小幡 剛 (尾花沢市) 武田可奈子 (山形市) ●優秀賞 伊藤日向子 (鶴岡市) 廣瀬 佳那 (尾花沢市) 平井 堅太 (高島町) 宮崎 泰成 (鶴岡市) 西尾 文佳 (尾花沢市) 海谷 有美 (高島町) 佐賀井千里 (鶴岡市) 高橋 捷 (尾花沢市) 今野杏有子 (三川町) 前田 和哉 (鶴岡市) 前田 敦子 (山形市) 阿部 浩宜 (山形市) 岸 由麻 (山形市) 三浦 彩希 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 阿部 篤 (尾花沢市) 會田 次郎 (山形市) 武田可奈子 (山形市) ●県中央会会長賞 菅野 颯 (尾花沢市) 押野 尚道 (鶴岡市) 岡部 咲 (酒田市) ●優秀賞 島津 諒 (高島町) 加藤 翔龍 (尾花沢市) 佐藤 愛竜 (尾花沢市) 藤井美名保 (尾花沢市) 佐藤 崇人 (鶴岡市) 伊藤 陸 (天童市) 今野杏有子 (三川町) 藤田 麗 (鶴岡市) 井上 和也 (尾花沢市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 佐藤 緑 (山形市) 渡邊 千咲 (山形市) 上林 穂末 (山形市) 鈴木 里奈 (山形市) 加地 明里 (米沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立明德小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 佐藤 永一 (尾花沢市) 花山 伶奈 (寒河江市) 堀野 佑衣 (山形市) ●県中央会会長賞 森谷 康平 (山形市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 垂石 杏 (山形市) ●優秀賞 三澤 悠花 (尾花沢市) 鈴木 芹奈 (鶴岡市) 本間 智広 (尾花沢市) 押野 尚道 (鶴岡市) 吉田 周平 (尾花沢市) 森 謙太 (尾花沢市) 原田 紘 (高島町) 菅野 静香 (尾花沢市) 杏澤 佑樹 (山形市) 丸田 駿平 (尾花沢市) 羽角 栗 (山形市) 島津 桃子 (米沢市) 石井 志織 (山形市) 橋本明香里 (山形市) 中村 実那 (山形市) ●学校奨励賞 寒河江市立醍醐小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 會田 三郎 (山形市) 今野美季子 (三川町) 齋藤 里沙 (山形市) ●県中央会会長賞 押野 尚道 (鶴岡市) 伊藤 浩司 (鶴岡市) 玉虫 正和 (米沢市) ●優秀賞 佐藤 俊貴 (鶴岡市) 高橋 翔太 (高島町) 小黒 拓真 (高島町) 長谷川 舞 (鶴岡市) 佐藤 琳 (尾花沢市) 東海林 道 (尾花沢市) 上林 晃 (鶴岡市) 森谷 麻衣 (山形市) 佐藤 瑞貴 (鶴岡市) 西塚 祐斗 (尾花沢市) 長岡 佑佳 (山形市) 大木 拓也 (米沢市) 石川紗己子 (米沢市) 佐藤 広康 (山形市) 志田 優花 (山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校
全国 ●優秀賞 半田さつき (山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 西田 知世 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	全国 ●農林水産大臣賞 會田 三郎 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立南小学校 ●優秀賞 鈴木 智佳 (山形市)	全国 ●内閣総理大臣賞 栗野 梨恵 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 次郎 (山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 會田 次郎 (山形市) ●学校奨励賞 山形市立南小学校 ●優秀賞 花山 伶奈 (寒河江市) 堀野 佑衣 (山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 須藤 萌 (山形町) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 三郎 (山形市) 今野美季子 (三川町)

第 36 回

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：388点
 図画：853点 合計 1,241点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	56点	66点	266点	388点
図画部門	531点	290点	32点	853点

■審査

(1) 県予選審査期日

作文部門 平成23年10月26日(水)
 図画部門 平成23年10月31日(月)

(2) 全国コンクールの結果

文部科学大臣賞 (作文部門1名)
 優秀賞
 (作文部門1名、図画部門1名)
 学校奨励賞1校

(3) 県コンクール県審査会期日

(作文・図画部門合同で開催)
 平成24年1月17日(火)

(4) 入選作品数

山形県知事賞 作文3点、図画3点
 山形県農業協同組合中央会会長賞 作文3点、図画3点
 優秀賞 作文15点、図画15点
 学校奨励賞 作文2校、図画2校

■審査委員

作文部門 (6名)

審査委員長 柿崎 憲一氏(山形市立西小学校 校長)
 小沼裕佳理氏(山形市立第二小学校 教諭)
 升川 敦子氏(大石田町立大石田小学校 教諭)
 荒井 徹氏(山形市立第九中学校 教諭)
 軽部 智恵氏(河北町立河北中学校 教諭)
 羽柴 麻美氏(村山市立楯岡中学校 教諭)

図画部門 (4名)

審査委員長 元木 正史氏(東根市立大森小学校 校長)
 張崎 正裕氏(山形市立南小学校 教諭)
 國井 和俊氏(山形市立第三中学校 教諭)
 横山 和弘氏(寒河江市立陵東中学校 教諭)

■表彰式

平成24年2月18日(土)

山形市「ホテルメトロポリタン山形」

年度	部門	1部	2部	3部	合計
6 (第19回)	作文 図画	167 1,164	330 820	179 53	676 2,037
7 (第20回)	作文 図画	220 781	300 647	138 23	658 1,451
8 (第21回)	作文 図画	201 639	337 507	152 66	690 1,212
9 (第22回)	作文 図画	63 643	229 461	69 40	361 1,144
10 (第23回)	作文 図画	75 907	137 594	117 47	329 1,548
11 (第24回)	作文 図画	108 869	195 450	108 26	411 1,345
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853

◆第36回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール募集要領◆

1. 趣 旨

このコンクールは、お米・ごはん食、稲作など古くから日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般と、お米・ごはん食が健康に結びつくことを見直してもらうとともに、次世代の子供たちに稲作農業が果たす多面的な働きとお米・ごはん食の重要性、人々とのコミュニケーション作りをはかるために実施します。

また、全国段階のコンクールと並行し、同一趣旨で実施します。

2. 「作文・図画の課題」「応募資格」

「応募規格（枚数・大きさ）」「応募規則」

全国段階の募集要領を適用します。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

- 1部 小学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生
(400字詰市販原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生
(400字詰市販原稿用紙4枚以内)

●図画部門

- 1部 小学校1年生～3年生
- 2部 小学校4年生～6年生
- 3部 中学校1年生～3年生
B3判(36.4センチ×51.5センチ)相当の市販画用紙を使用。画材はとくに制限しません。

【応募規則】

- (1) 課題にそった作品を対象とします。
- (2) 他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- (3) ひとりで1部門に2点以上は応募できません。
- (4) 図画作品でポスター形式(標語・キャッチフレーズ文字の入ったもの)のものは応募できません。
- (5) 学校で応募の際は、別添の応募者一覧表を必ず添付してください。
- (6) 作品には、1点ごとにつぎの事項を記入した応募票をつけてください。(下に見本)
つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。
①作品の題名 ④学校所在地(郵便番号・電話番号)
②氏名・性別 ⑤本人住所(郵便番号・電話番号)
③学校名・学年・組 ⑥JA名(農協名)
- (7) 全国コンクールの各大臣賞および全国農業協同組合中央会会長賞受賞作品は平成24年3月に返却予定です。山形県コンクールの山形県知事賞および山形県農業協同組合中央会会長賞受賞作品は、協同の杜

「JA研修所」に1年間展示後、平成25年2月上旬返却予定です。これ以外の作品は平成24年2月上旬に返却予定です。なお、作品の著作権は全国農業協同組合中央会に帰属します。

- (8) 本コンクールの作品応募に際して提供された個人情報、承諾なく第3者に提供しません。ただし、入賞者については入賞発表や表彰式などのほか、広報媒体への露出や作品展示などの広報活動で公表する場合があります。

3. 締切日

平成23年11月4日(金)(必着)

4. 入賞発表

全国発表 平成23年12月1日

本県発表 平成24年1月17日

5. 賞

全国審査の全国表彰のほか、本県審査により次の表彰を行います。

●山形県知事賞

両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から1万円相当の図書カード)

●山形県農業協同組合中央会会長賞

両部門各部門ごとに1名 計6名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から5千円相当の図書カード)

●優秀賞

両部門各部門ごとに5名 計30名
(賞状と山形県農業協同組合中央会から3千円相当の図書カード)

●学校奨励賞

両部門ごとに2校 計4校
(賞状と山形県農業協同組合中央会から2万円相当の図書カード)

6. 審査委員

県教育庁、小・中学校教諭

7. 応募先

- (1) 県内の各JAを受付窓口とします。
- (2) 県段階は次に問合わせください。
〒990-0042
山形市七日町三丁目1番16号
山形県農業協同組合中央会
(JA山形中央会)
農業農政部
「作文・図画コンクール」係
TEL 023-634-8114
FAX 023-633-1754

8. 全国段階との関連

- (1) 県段階で予備審査を行い、各部門ごと数点を全国に推薦します。
- (2) 全国審査終了後、全国から返送された作品を含め、本県の本審査を行い、県段階の優秀作品を決定します。

作品の題名			
フリガナ			性別
氏名			男・女
フリガナ			
学校名	立	学校	年 組
フリガナ			
学校所在地			
電話番号			
フリガナ			
本人住所			
当該JA			

